平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・人間関係学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断		4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3
17JPWC1011	初期演習	1	「初期演習」の目的は、初年次学生が、学院の教育理念と歴史について学び、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培い、学科の教育目標を達成するように導くことである。	1．「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 2．主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。 3．学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 4．女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。					◎	◎		○		○	○	○
17JPWC1021	女性のライフステージとキャリア	1	心理・人間関係学科で学ぶ４つのライフ・ステージ「自分らしさを見つける」、「自分を社会に活かす」、「家族をつくり支える」、「コミュニティに参加する」を通じた女性のライフスタイルの全体像について理解し、２年間の学習プランを自ら構築できる基盤を築く。	1．各ライフステージの基礎知識を習得する。 2．女性が直面しやすいライフイベントについて、心理学および社会福祉学の視点から理解することができる。 3．女性としての自らの生き方のアウトラインを思い描くことができる。	○	○				○			○	◎		○
17JPWC1033	現代女性論	1	政治・経済が激変する中、女性の生き方も多様化している。同時に、若い女性にとっては、母親世代を含め、これまでの女性の生き方がモデルとして成り立たなくなっている。そのような状況において、女性として生きていく上での必要な知識を習得し、主体的に考え、行動できる力を養う。	1．日々の生活の中で女性性やジェンダーを意識し、「当たり前」、「当然」、「自然」とされがちな様々な事象を批判的に捉えられるようになる。 2．これまでの「とらわれ」から自由になり、主体的な選択ができるようになる。								◎	◎	○	○	
17JPWC1043	社会人のマナーとルール	1	ビジネスパーソンとして就業するために必要となる基本的な就業のルールを理解し、ビジネスマナーに関する知識・スキルを習得するとともに、社会人としての資質を向上させることを目的とする。	1．ビジネスパーソンとして職務を遂行するために必要な就業のルールやビジネスマナーを理解し、新入社員として職務遂行できるレベルに到達する。 2．ビジネスマナーなどの資格試験３級程度に合格できるレベルに達する。				○	○	○		○		○	○	◎
17JPWC1053	オフィスワークの日本語表現	1	社会人に求められる基本的な文章表現能力の習得を目的とする。	論理的に思考し、相手を意識した文章表現力を養う。				○				◎				
17JPWC1061	英語会話Ⅰ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを復習し、コミュニケーション活動を通して基本的な会話が英語でできるようになることを目標とする。				◎								
17JPWC1071	英語会話Ⅱ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身に付けた基本的会話表現・スキルを応用し、さまざまな状況で英語による意思伝達ができるようになることを目標とする。				◎								
17JPWC1081	情報リテラシー	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	1．本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 2．基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 3．レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。				○			◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断		4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3
17JPWC1093	心理学概論A	1	「行動の科学」としての心理学の基本的な考え方と方法論の理解を第一の目標とする。また、心理学の諸領域で学ぶ総説的な知識を、心の成長・発達や日常生活の身近な出来事と関連させて理解することにより、対人援助の科学としての人間科学の一翼を担う心理学についての理解を深化させる。	心理学の諸領域について、その基本的な概念・考え方を理解している。	◎					○		○		○		
17JPWC1103	心理学概論B	1	発達心理学および臨床心理学を中心に心理学の基礎を学ぶ。また、心理学が活用されている領域について知る。そして、それぞれの領域の心理学の活用方法などを理解する。	1．心理学の基礎知識を踏まえて、心理学の特徴を理解できる。 2．各領域での基礎知識に基づいて、個人や集団へのアプローチを理解できる。	◎					○		○	○		○	
17JPWC1113	対人関係の心理学	1	私たちの日々の人間関係の重要な部分を構成する人と人との関わりに関する心理学的メカニズムを学ぶ。	人類の繁栄の礎となった「人間関係の設計図」について理解し、その理解を基に、社会に貢献できる人間としての志を獲得する。	◎			○	○	○		○			○	
17JPWC2013	こども心理学	2	発達心理学の基礎的な概念・用語と、胎児期から青年期までの発達の概要について理解する。	1．胎児期から青年期までの発達の概要がイメージできる。 2．自分のこれまでの発達の理解に知識を活用することができる。	◎							○	○			
17JPWC1123	臨床心理学	1	臨床心理学の基本的な理論や実践について学ぶ。	自分自身の「心」への理解を深め、また「こころ」に問題を抱える人々への理解や援助についての基礎知識を身につけることを目的とする。臨床心理学を学ぶことを通して、「心」の奥深さを知り、人間性が涵養されることも期待している。	◎							○				
17JPWC1133	カウンセリング心理学	1	カウンセリングの意義や対人援助の原則について理解を深め、概要や基礎について学ぶことを目的とする。	各自がカウンセリングについて理解し、自他のこころに思いをめぐらせることができるようにすることを目標とする。	◎							○				
17JPWC1143	犯罪心理学	1	1．犯罪・非行とよばれる反社会的逸脱行動は心理的な要因のみで生じるものではなく、環境的・状況的・社会的な要因や生物学的な負因などが複合して生じることを概説する。 2．心理学が犯罪・非行領域でどのように応用・援用されているかを概説する。 3．警察、司法、矯正保護などの刑事政策に関わる諸機関の役割やそこで働く心理系専門職の実務を知る。 4．犯罪や非行少年に関連する諸問題（精神障害者の犯罪、裁判員制度、少年法の改正など）についても概説する。	1．犯罪学の諸理論を理解するとともに、理論を批判的に吟味することで合理的・論理的な思考力を身につける。 2．犯罪・非行領域における心理検査の活用などについて基礎的なことを身につける。犯罪白書などの資料を読解し、活用する力を身につける。 3．犯罪・非行にかかわる心理実務者の仕事を知り、将来の職業選択について考える。 4．精神障害と犯罪、少年司法、裁判員制度などのテーマを通して、市民としての社会的責任を自覚するとともに、社会的な問題に対する関心を深め、生涯学習力を身につける。	◎					○		○		○		
17JPWC2023	消費者・産業心理学	2	人々の消費行動における、意思決定に関わる社会心理学的メカニズムについて理解する。また、消費者行動に関連する組織、産業についても理解を深める。	1．マーケティングの基本的な考え方を理解する。 2．消費者行動理解における心理学的観点からのアプローチの重要性を理解する。 3．心理学に限らず、関連分野にも視野を広げ多面的に消費者行動をとらえようとする姿勢を持つ。	◎							○	○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断		4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3
17JPWC2033	心理検査法の実践	2	実際の作業を通して、心理検査の目的、方法、結果（所見）の解釈の方法、さらに心理検査の効用と限界について学ぶことにより、心理検査法の全体像を理解する。	心理検査が実施される目的を的確に理解する。そして、比較的実施しやすい検査（たとえば知能、神経心理、性格検査）の方法にある程度習熟し、その所見について適正な報告書を作成できる能力を身につける。	◎			○				○				
17JPWC2043	心理学実践研究	2	心理学の基礎的な実験・測定方法に習熟し、科学的方法論の基礎を学ぶ。	1．実証的研究方法に関する実践的スキルの基礎を習得している。 2．データ分析や数量的思考に関するスキルの基礎を習得している。 3．研究の立案や計画に関するスキルを習得している。 4．科学的レポート作成スキルの基礎を習得している。 5．研究に必要な情報収集スキルの基礎を習得している。	○			○	○		◎	◎		○	○	
17JPWC2053	恋愛と結婚の心理	2	女性のキャリア形成・自己実現にとって重要なイベントである恋愛、結婚、家族形成にかかわる諸問題について、心理学およびその関連諸科学（社会学、経済学、人類学、生物学等）の観点から理解し、女性としての自らのキャリアデザインへの実践知を高める。	1．女性のキャリア形成において恋愛と結婚がどのような問題をはらんでいるか理解する。 2．現代の若者の恋愛・結婚を巡る状況を統計資料から理解する。 3．ヒトの繁殖行動を進化生物学の観点から理解する。 4．ヒトの生後初期の発達の生物学的・心理学的特殊性を理解する。 5．恋愛・結婚の問題を経済学的視点から理解する。 6．以上を通じて、恋愛と結婚を自分のキャリアの問題として考える。	◎				○	○		○	○	○	○	
17JPWC2063	高齢者の心理学	2	わが国では周知のとおり、急速な高齢化社会を迎えており、今後高齢期というものに対する世の中の関心はますます高まっていくことが予想される。高齢者の心理的特徴を概観した上で、高齢者の心理的問題について理解を深め、心理援助に関する基本的な知識を身につけることを目的とする。	1．高齢者と若年者の心理・精神機能で共通するところと異なるところは、それぞれどんなところかを概ね理解する。 2．何らかの心理的問題を抱えた高齢者に対する心理援助の方法、種類などについて、簡単に説明できるようになる。	◎	○			○			○		○	○	○
17JPWC2073	リスクと安全の心理学	2	我々が主観的にリスクをとらえる心理的プロセスを理解する。さらに、主観的に感じるリスクと実際のリスクの間に生じるズレにより生じる事象について理解を深める。	1．リスク認知に関する心理的プロセスについて理解している。 2．日常生活におけるリスクに気づくことができる。	◎					○		○		○	○	○
17JPWC2083	プロジェクトマネジメントの実践	2	プロジェクトマネジメントをとおして、計画の重要性や問題解決の方法を体験的に学び、自ら考え抜く力を身につける。また、コミュニケーションやチームワークの重要性を認識し、自らチームメンバとして参画することで人々と関わりあって物事を進めることの楽しさや効率の良さを学びとる。	この講義をとおして以下の知識や能力を習得し、社会で十分に発揮出来ることを目標とする。 （1）プロジェクトマネジメントに関する知識の理解 （2）プロジェクトマネジメント手法の理解 （3）実現可能性が信じられるゴールを設定し、それに向けた道筋を明確にして実行する。 （4）なぜを繰り返すことで自ら考え抜くことができる。 （5）ファシリテーション技術を習得する。 （6）コミュニケーションマネジメント（傾聴他） （7）チームを理解し、チームメンバとして能力を発揮する。 （8）プロジェクトを進める上で考えるべき、品質、コスト、工程、環境等多種多様な情報に基づき問題を解決することができる。				◎	◎	◎	○	○		○	○	○
17JPWC2093	現代社会と福祉Ａ	2	現代社会における福祉制度の意義、福祉政策、ニーズと社会資源、相談援助活動との関係など、社会福祉についての理念、価値を理解する。	社会福祉の理念や価値を理解して行動できるようになる。		◎									◎	
17JPWC2103	現代社会と福祉Ｂ	2	社会福祉の各分野における制度・政策および課題、課題解決の方略について理解する。	制度等が活用できる基本的な知識を養う。		◎									◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断		4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3
17JPWC2113	こどもと福祉	2	現代社会において、こどもを取り巻く環境が厳しくなってきており種々の事柄が社会問題となっている。こどもを取り巻く社会を理解し、こどもや家庭への支援について考える。	理解に基づいて、活動できる基本的な知識を身に着ける。		◎									○	
17JPWC2123	社会保障論	2	社会保障の中核をなす社会保険について学ぶ。	社会保険のうち、年金・医療・介護保険に関する基本的な知識を理解する。		◎										
17JPWC2133	介護とリハビリテーション	2	1．介護とリハビリテーションの概念について理解する。 2．介護職に必要な職業倫理、専門知識について理解する。 3．介護の技法（生活支援技術）について理解する。	1．介護の概念や対象を理解し説明することができる。 2．介護予防とリハビリテーションの基本的な考え方を理解し説明することができる。 3．介護の技法（生活支援技術）の基本を理解し説明することができる。 4．認知症ケアおよび終末期ケアについて理解し説明することができる。		◎				○				○		
17JPWC2143	家族の心理と福祉	2	私たちはみな、家族という最初の社会化の場で生活し、様々なことを学んでいる。しかし、時代の移り変わりとともに家族形態も変化し、家族の役割も変化してきている。変化する家族機能の背景を理解し、家族の中で生活するその時々の課題について心理・福祉的アプローチを考える。	1．家族の機能と役割を踏まえ、家族が成長する時々に生じる課題と解決策について考える。 2．多様化する家族観の理解に努め、柔軟な思考を醸成することができる。	◎	◎						○		○	○	○
17JPWC2153	女性と法律	2	これからの社会を生きるにあたり大切となる法律について、その基本的知識、考え方、社会的背景について理解を深める。現代の女性が置かれている状況を具体的事例に即して考察し、その中での法律の役割、課題を考える。	以下のような素養・能力を身につけることを到達目標としている。 （1）就職や結婚、相続など、人生の節目における法律的なポイントに関しての知識・理解力 （2）トラブルに遭遇した時に法的な解決策を見出すための知識、論理的思考力 （3）法律を通して現代社会の課題を見出す探究心 （4）法律を担う市民としての社会的責任感						○		◎	◎	○	○	○
17JPWC2163	健康と医療サービス	2	健康と医療は人生における重要な関心事である。健康と保健医療福祉分野をめぐる現状をよく知り、私たちの健康に絡む今後の課題について理解を深める。 受講生一人ひとりが、健康とは何か、より良い保健医療福祉サービスとは何かを考える機会とする。	1．今日における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を理解することができる。 2．医療ソーシャルワーカーが保健医療分野に存在する意義について説明することができる。		◎			○					○	○	
17JPWC1153	レクリエーション概論	1	レクリエーションについての基本的理論を理解し、現代社会における課題からレクリエーションの果たす役割、意義についての基盤を築く。	1．レクリエーションの基本的な考え方を理解し、現代社会の課題を踏まえてレクリエーションの内容が多岐にわたることを理解することができる。 2．レクリエーションの歴史を学び、その定義や捉え方が時代とともに変遷していることを知り、現在のレクリエーションの定義について、認識を深めることができる。 3．コミュニケーションの原点であるアイスブレーキングとホスピタリティについて学び、その手法を習得する。 4．行事の企画と運営の方法について学び、反省評価も含めて企画できる能力を習得する。			◎	○	○				○	○	○	
17JPWC1163	レクリエーションアクティビティ	1	さまざまな領域の人々が楽しさを体験できる活動を活用しながら、関係を構築する能力、問題を理解し解決する能力、自己を表現する能力を高める。	1．意図的なグループ経験を通じて、社会人になる準備として必要なコミュニケーション力を身につける。 2．個人が社会の中で機能し、個人、集団、地域社会の諸問題により効果的に対処するための「姿勢・態度・行動」を習得する。			○	○	◎			○				○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1．知識・理解			2．技能・表現				3．思考・判断		4．態度・志向性		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3
17JPWC1173	コミュニケーションワークの基礎	1	多様なライフステージに応じた芸術・文化活動、各種ニュースポーツやグループゲームなどの体験学習を通して、それぞれの種目を指導できる基礎的技術を身につけることを介して、コミュニケーション能力の基盤を築くことを目的とする。	1．各種目特性の理解を深め、実際に種目を実施できる。 2．各種目に対する技術的な指導から参加者をまとめるリーダーシップを指導場面において適切に示すことができる。 3．対象者が楽しく参加できるように、実践的な場でのコミュニケーション能力を身につける。			○	◎				○			○	○
17JPWC1183	コミュニケーションワークの応用	1	「コミュニケーションワークの基礎」で習得したコミュニケーション能力に、さまざまな活動の指導や行事の企画と実践的な運営などを通して、今後のキャリアアップにも有効な臨機応変な応用力を加味することを目的とする。	1．「楽しい集い」を演出するプログラムをPDCAサイクルに基づいて実践できる力を習得する。 2．集団の中で発揮できるリーダーシップ力を習得する。 3．集団生活の規律を遵守することができる。			○	○	◎				○	○		○
17JPWC2173	レクリエーションマネジメント	2	レクリエーション指導（支援）の意味を理解し、レクリエーションを総合的に支援する「マネジメント」に必要な資質を身に付ける。	レクリエーションが展開されるさまざまな分野において対象者のニーズを把握し、レクリエーションを組織的・計画的に展開するための理論と方法を修得する。			○	○	○	○		◎		◎		
17JPWC2183	障害とスポーツレクリエーション	2	障がいを持つ人が行うスポーツやレクリエーション活動に関する知識や技能の基盤を実践を通して築く。	1．主に初めてスポーツやレクリエーション活動をする障がい者に対し、参加することの喜びや楽しさを重視したスポーツやレクリエーション活動の導入を支援するために必要な知識と技能を習得する。 2．スポーツやレクリエーションプログラムの立案、企画、実施、評価という一連のプロセスを実践できる場面を通して、指導者に求められる能力を習得する。			○		◎	○		○		○		○
17JPWC1193	オフィスワークの英語Ⅰ	1	社内の公用語を「英語」とする日本企業があらわれ、会社の規模にかかわらずグローバル化をすすめる会社が増えている。もはや英語は一部の部署のみで必要とされる特殊能力ではない。そんな社会で今後活躍が期待される受講生が「英語力」で不利益を被ることがないようビジネスで必要な基礎力を身に付けることを目標とする。	1．英語で自己アピールできる。 2．短大で学んでいる内容について英語で簡潔に説明できる。 3．部署名を英語で理解できる。 4．基本的な電話応対ができる。 5．ビジネスレターのフォーマットが理解できる。				◎	○	○				○	○	○
17JPWC2193	オフィスワークの英語Ⅱ	2	社会人としてオフィスで通用する英語力を身につける。	1．ビジネスシーンで初対面の相手にスマートに自己紹介できる。 2．電話応対がスムーズにできる。 3．ビジネスレターを読んで大枠を理解することができる。				◎	○	○				○	○	○
17JPWC1203	オフィスワークの会話表現	1	社会で必要なビジネスシーンでの会話表現（日本語）を学習する。職場のルールや仕事の進め方を知り、適切な応対ができる人材を育てることを目的とする。	1．適切な敬語表現を用いることができる。 2．適切な電話応対ができる。 3．スマートな名刺交換の実践。 4．メールなどネット上のマナーを身につける。 5．冠婚葬祭に対応できる力を身につける。				◎	○	○				○	○	○
17JPWC2203	オフィスワークの情報処理	2	情報技術の中でも、文章作成や表計算は実用性・応用性が高いことから、社会人として身に付けるべき必須能力といっても過言ではない。本授業の目的は、ビジネス場面において多く用いられる文章作成や表計算の学習を通じて、一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身に付けることである。	一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身に付ける。						○	◎					○